

# マダニにご注意！！

マダニに咬まれると、感染症を発症し死に至る場合があります。

## 【マダニが媒介する主な感染症】

### ●重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

- ・潜伏期間：ダニにかまれてから6日～2週間
- ・主な症状：発熱、食欲低下、嘔吐、下痢

### ●日本紅斑熱

- ・潜伏期間：ダニにかまれてから2～8日
- ・主な症状：高熱、発疹

マダニによる感染症を防ぐには咬まれないことが重要です。

マダニは、屋内の衣類や寝具、食品に発生するダニとは違い、野山や草むらなどに多く生息し、春から秋にかけて活動が活発となります。レジャーや遠足、農作業の際には咬まれないように気を付けましょう。

マダニの成虫は、3～8mmで、吸血すると1cm以上になるため、目で見ても確認できます。



▲フタトゲチマダニ

(国立感染症研究所提供)



## 【咬まれないためには？】

### 1. 草むら等に入るときには

○服装に気を付けましょう。

- ・肌の露出は少なくする（長袖、長ズボン、首にタオルを巻く、サンダルは履かないなど）。
- ・くっついたマダニを見つけやすい色の薄い服がおすすめ。

○忌避剤を利用しましょう。

- ・虫除けスプレーを利用する（服の上や肌の露出部分）。

○直に寝転んだり、腰を下ろしたり、荷物や服を置くのはやめましょう。

### 2. 屋外で活動した後は

○服などにくっついていないかチェックしましょう。

- ・くっついているマダニはガムテープなどを使って取り除く。
- ・脱いだ服は放置せず、すぐに洗うかビニール袋に入れて口を縛る。

○体にくっついていないかチェックしましょう。

- ・体や頭をよく洗いシャワーで洗い流し、新しい服に着替える。



## 【咬まれたら】

### 1. マダニを無理に引きはがそうとすると

- マダニの体の一部が皮膚に突き刺さったまま残ることがあります。  
無理に取り除かず、皮膚科または外科にご相談ください。

### 2. 発熱、食欲低下、嘔吐、下痢、発疹などの症状が認められたら

- 速やかに医療機関を受診し、野山などで活動したことを伝えてください。